

留学報告書 ～KOHAWKS～

コー大学
外国語学部（長期）

私は、アメリカ・アイオワ州にあるコー大学へ、公費による長期交換留学を経験しました。留学は、私の人生で挑戦したいことの一つであり、その実現に向けて、貯金やアカデミックな準備に加え、スピーキング・リスニング力の向上、さらにはアメリカの文化や生活習慣の予備知識も身につけた上で臨みました。莫大な費用がかかる留学において、後押ししてくれた家族、とりわけ両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

コー大学に到着して間もなく、同じ日本からの留学生たちと打ち解けることができました。授業が始まるまでに 1 週間以上の猶予があり、生活環境の整備や履修登録の最終チェックに集中できたのは幸運でした。買い物や部屋の整理など、生活面の不安もこの期間である程度解消できました。特に、最初に訪れたスーパーマーケットでは、商品の表示や支払い方法に戸惑いながらも、現地での生活が本格的に始まった実感を得ることができました。私は秋学期には ESL、スピーキング、ビジネス系、春学期には、テニスや歴史の授業を履修していました。どの授業もリーディングを中心とした予習が多く、毎晩図書館で勉強するのが日課でした。加えて、サッカー部にも所属していたため、学業と部活動の両立を図る必要があります。時間管理能力が求められました。英語での授業に最初は苦戦し、先生の話す内容をすべて理解するのは困難でした。ノートを取るのにも必死で、スライドの共有をお願いするなど、積極的にサポートを求める姿勢を大切にしました。先生方も私の状況を理解し、柔軟に対応してくれました。秋学期では 2 つの ESL 授業が必修ですが、それ以外は自由に選べるため、自分の興味に応じて Public Speaking の授業を選択しました。この授業では合計 7 回のプレゼンテーションが課され、英語を話す機会が豊富に用意されています。リーディングができるからといって、実際に会話がうまくできるわけではなく、実際にコミュニケーションを取った際に大きな壁を感じました。原稿の暗記や発音練習など、日々の努力が欠かせない内容でしたが、非常に実践的で有意義でした。発表後には先生やクラスメイトからフィードバックを受ける機会もあり、自分の成長を実感できました。発表が終わった後に、「あなたの話はわかりやすかった」と褒めてもらえたことが、大きな自信となりました。また、英語でのプレゼン力を高めたことで、将来的に国際的な職場で活かせるスキルが身についたと感じています。

留学での学びは、教室の中だけにとどまらず、むしろ現地の学生や地域の人々との交流こそが、私にとっての最大の学びでした。私は、英語力を高めるためにも、積極的に友人作りに励みました。特にサッカー部への入部は、大きな転機となりました。チームメイトたちはとてもフレンドリーで、練習や試合を通じて自然と英語を使う機会が増えました。さらに

は、彼らの友人たちとも繋がることができ、交友関係は一気に広がりました。授業だけでは得られない、生きた英語と文化に触れることができた貴重な体験です。日本に関心を持つ学生も多く、会話のきっかけにもなりました。また、部活動の仲間と食堂でランチやディナーを共にする時間は、交流を深める大切な時間となりました。食堂では多国籍な学生が集まり、さまざまな文化背景を持つ人と関われる場にもなりました。これから留学する人には、部活動への参加を強く勧めたいと思います。語学力だけでなく、異文化理解力やコミュニケーション力の向上にも繋がるはずです。実際、私はサッカー部の活動を通して、アメリカ人の考え方や生活スタイルを肌で感じることができました。チームメンバーと語り合った夜や、悩みを共有して励まし合った時間は、かけがえのない思い出となっています。

コー大学では、学内イベントも充実しており、学生同士の交流の場が豊富に用意されています。ボウリング大会、映画鑑賞、スポーツ観戦、ダンスパーティーなど、多彩なアクティビティに参加することで、多くの出会いがありました。中でも、大学主催のシカゴ旅行は印象に残っています。移動費と宿泊費は大学が負担してくれたため、個人の負担は食費や娯楽費程度で済みました。観光地の美術館や博物館では、アメリカの歴史や文化に直接触れることができ、非常に刺激的な経験でした。大学が田舎に位置していることもあり、普段の週末は友人の部屋で遊ぶことが多かったですが、ダウンタウンへ出る際は無料バスが運行しており、気軽に出かけることができました。寮の共有スペースにはビリヤード台や卓球台、モニターなどもあり、気軽に集まって遊ぶことができる環境も整っていました。こうした場所では、自然な形で会話が生まれ、交流が深まっていきました。時には、寮内で日本食をふるまったりする機会もあり、文化交流にも繋がる場面が多々ありました。こうした日常の積み重ねが、留学生生活をより充実したものにしてくれたと思います。誰かと一緒に笑い、感動を共有する時間は、人生をより豊かにしてくれると実感しました。

この留学を通じて、語学力の向上はもちろんのこと、多様な文化や価値観に触れることで、自分の世界が大きく広がりました。授業、部活動、イベント、日常生活のすべてが貴重な学びの場であり、自分を見つめ直す機会にもなりました。積極的に挑戦し、異なる環境に飛び込むことの大切さを実感しました。この経験は、今後の人生においてかけがえのない財産になると確信しています。将来は、今回の経験を糧に、国際的な舞台でも柔軟に活躍できる人材を目指したいと考えています。語学力だけでなく、異文化と協調する姿勢を持ち、広い視野で物事を考えられる力を、今後も伸ばしていきたいと思っています。最終的には、国際協力や教育の分野で、他者の成長を支援できる存在になることが私の目標です。社会課題に対しても積極的に関心を持ち、グローバルな視点で問題解決に貢献していけるよう努力を重ねていきたいです。今後も学びを止めず、さまざまな経験を吸収して成長し続けたいと強く思っています。私は今回の留学で得た教訓や感動を、将来のキャリア選択や人との関わりの中でしっかりと活かしていきたいです。何よりこの一年間で築いた人とのつながりは、私にとって何物にも代えがたい宝物です。